

令和6年度 旭市立干潟中学校 第3回学校運営協議会〈記録〉

期日 令和7年2月28日（金）

時間 15：25～16：15

場所 校長室

出席者：干潟中学校運営協議会委員7名（地域より5名・学校より3名（1名欠席））

傍聴者：旭市教育委員会から2名

教育総務課 渡辺 晃 指導主事

生涯学習課 藤野 直樹 社会教育指導員

1 開式の言葉

2 校長あいさつ（校長）

- ・校長挨拶

3 協議・説明

（1）学校評価について（教頭）

- ・特に学習課題の家庭学習や読書活動に関しては、課題である。今後検討が必要である。

〈主な質疑応答〉

Q. 不登校生徒の学習はどのようにおこなっている？

A. タブレットによるオンライン授業を実施している。

Q. 不登校生徒への対策は？

A. 外部機関を活用し出席日数の数字には表れないが、保護者・本人との関わりは増加している。

（2）来年度の見守りボランティアについて（教頭）

- ・今年度、第一歩として募集したが厳しい状況であった。PTAとしても協力したいという気持ちはあるものの、仕事の出勤時間と重なるため厳しいのが現状である。

〈主な質疑応答〉

- ・なし

（3）部活動について（教頭）

- ・12月に現小学6年・5年生に中学校入学後の希望調査を行ったところ、クラブチームで活動を継続する児童が多く、現在、同競技への部活動加入や部活動数の検討を行っている。

〈主な質疑応答〉

Q. 海外のように様々な競技に参加し大会等を経験することで、自分の可能性を見つけることができるのでは？

A. チームへの登録や大会出場に重複して出場できるのは、厳しいのが現状である。

（4）来年度の学校運営に対する基本方針（校長）

- ・学校要覧を中心に説明。伝統を継承しつつ変えるべきものは変える。時代の流れに学校はあまり左右されず、地域・家庭から安心される場所であり続ける必要がある。

4 連絡

- ・第2回の学校運営協議会で検討事項にあがった街頭の件について説明
- ・来年度の第1回学校運営協議会の日程説明

5 閉式の言葉